



東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

日下ゼミ紹介

自由になるための「アナキスト地域研究」

国際社会学部

日下 渉

kusaka@tufs.ac.jp

自己紹介

- 高校時代、「今ここじゃない別の世界」への漠然とした興味
- 大学生の時に、東南アジアをバック・パッカーで旅行したが、もっと深く「向こうの世界」を経験してみたいと思った
- レイテ島でのワークキャンプで、人々の優しさに感動する
- 卒業論文を書くためにフィリピンについて勉強をして、ますますその面白さにとりつかれた
- フィリピンのおかげで人生の目的が生まれ、フィリピンに救われた感覚
- フィリピン大学に留学しながら、マニラのスラムに一年間住みこんでフィールド調査

政治の文化分析

- 政治学の研究課題を、エスノグラフィーと言説分析という文化人類学・社会学の方法で分析していく
- とりわけ周縁化された人々の経験と視点から、もっともそうな理論や議論を批判していく
- 「地域を丸ごと理解する」という信念のため研究対象とテーマが幅広い
- スラム住民、露天商、ハンセン病患者、性的マイノリティ、災害、選挙、音楽・映画、妖怪、司法、地方政治、国際協力、近代化など
- 政治、大衆文化、ジェンダー・セクシュアリティ、開発など

地域研究の魅力

(1) 地域研究とは？

- 他地域や他者の世界観を「内在的」に理解していく
- 自分自身や自分の趣味も研究対象になりうる
- 国内でも海外でもフィールドワークをお勧めしたい

(2) 研究テーマは自由

- 日常のモヤモヤ、好きな趣味、社会や政治に対する怒り、自分のアイデンティティ、困難な状況を生きる他者など
- 自分にとって切実で重要なことをテーマを決め、それを理解するために、様々なディシプリンを用いる
- 政治学、文化人類学、社会学、哲学、国際関係論など

(3)「複眼的視座」

- 異なる地域を内在的に理解することで、世界を見る複数の視座（レンズ）を手に入れられる

(4) 自分を作り変えて自由になる

- 他者の視点を借りて、既存の「常識」や「ルール」から自由になり、自分自身を新しく作り変え、より善き生き方や社会を追求していける

(5) 新たな価値とやり方のイノベーション

- 急速に社会・経済・政治が変容し、従来のやり方が通用しなくなるなか、様々な諸課題を複眼的に分析し、独創的な解決の方法を模索していける

「アナキスト地域研究」

- アナキズム：国家の存在を否定したり、無秩序を称賛するイデオロギーではなく、私たちの「ヒエラルキーなき相互性」を信じる構え
- 「公式の秩序」を規定する国家や組織の法制度、市場の経済合理性（利潤の最大化）に盲従しない
- 普通の人々が他者との関わり合いを通じて、社会秩序を作っていく試行錯誤の可能性に着目
- 他者（地域の人々）にとっての「合理性」を内在的に理解し、そこから現代社会の課題や可能性を考えていく

ゼミに合うであろうタイプ

1. フィリピンに関するテーマを研究したい
2. 国内外でフィールドワークをして、様々な状況を生きている人々のことを知りたい
3. 文化、政治、（反）開発、国際協力、ジェンダー／セクシュアリティ、都市、災害、移民、マイノリティなどについて研究したい
4. 追求したい切実なテーマを持っているけど、どのように研究したらいいかわからない

ゼミの運営

3年次

- 春学期：輪読「アナキスト柔軟体操」
- 夏休み／留学：現場で「なぜか」という問いをさがす
- 秋学期：先行研究を読んで、予備論文（個人orグループ）を執筆し、合評会を行う
- 春休み：フィールド調査

4年次

- 春学期：卒業論文の執筆、進捗状況の報告
- 夏休み：フィールド調査
- 秋学期：卒業論文の執筆、提出

これまでの卒論テーマ

マイノリティ

- なぜ将来は「危機」として語られないのか—インドネシアの不法占拠村の生活認識に関する考察
- 「定住」選択という賭け—フィリピン旧日系人4世の若者の語りから
- 日本とフィリピンの学校文化の差異を翻訳する—動画を通じた相互理解の促進
- 「混血」をめぐる研究動向—その成果と課題

政治

- プラボウォ支持者に見る、「良心」の矛盾—インドネシアにおける「良心投票」に対する批判的考察

大衆文化

- フィリピン・セブにおけるサント・ニーニョ信仰の変容—公的記録と世代間による日常実践のズレをめぐって
- 舞踊から紐解くフィリピンのナショナリズム
- 再帰的近代化の中の構造と反構造 ～クラブカルチャーを通じた考察
- ドーピング使用をめぐる評価と支持の分岐——横川尚隆選手のFWJ移籍に対する言説分析
- 現代フィリピン社会におけるアスワンの役割——都市伝説的存在の実態
- オランダの大麻文化
- ブラック・カルチャーの盗用と「真正性」

開発

- フィリピン災害研究における「ソーシャル・キャピタル」——台風ヨランダ研究の事例から
- ボトムアップ型開発の制度化に伴う参加の利用——サラワク州の森林開発をめぐる先住民運動
- “Life Before Housing”: Investigating Relocates’ Human Values in an In-city Resettlement Program in Metro Manila

観光

- 観光ブック制作を通じたフィリピン・ダバオ市の観光振興
- 宗教規範は経済多角化を阻むのか——ブルネイ・ダルサラームにおける観光政策とイスラーム統治の相互作用

ゼミ選抜（第一希望者が12名を超えた場合）

- 評価ポイント

1. 学生がアカデミックに追求したい「問題」を持っている
2. 学生の関心と教員の専門知識との間で、ポジティブな相互作用を期待できる

- 方法

1. [Google form](#) で以下の情報を提出する
2. (a)ゼミの志望動機、(b)研究計画（現時点で考えているテーマと方法）
3. 書類審査だけでは難しい場合、5分ほどの面接を行うことがあります